

戦争法案、廃案! 安倍内閣退陣せよ!

日退教通信

No. 361

2015.8

日本退職教職員協議会

〒101 0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
 発行責任者 竹田邦明
 TEL03(5275)2197・FAX03(5275)2081
 E-mail:nitalkyo@gmail.com ホームページURL: http://www.nitalkyo.com

各地で運動を強化しよう!

7月16日、衆議院は憲法違反の安保法案を可決、舞台を参議院に移りました。この間、多くの国民が反対の声を上げ、暑い中、連日、デモ、集会、座り込みを行っています。

香山リカさん、山口二郎さん、佐高信さん、鎌田慧さん、蓮舫議員、吉田忠智議員、村山富一元首相、鳥越俊太郎さん、澤地久枝さんその他多くの人

たちが入れ替わり立ち替わり、廃案を訴えています。

日退教も、関東ブロックを中心に連日参加をして廃案を訴えています。北海道、東北、福岡からも参加をしています。高齢者集会(9月14、15日)のある中旬が、大きな山場と予想されます。各地区でも、更に運動を強化し、廃案に追い込みましょう!



6月14日



6月26日



6月23日



7月28日



6月24日



7月28日



7月16日 衆院可決



7月28日
福岡から11名参加

カンパで運動を強化!

第44回総会でもカンパの件が取り上げられ、今年は決戦の年でもあるので、各単会は全員で、全力で取り組むべきだとの発言がありました。戦争関連法阻止、沖縄辺野古新基地絶対許さない、東日本大震災支援がカンパの目的です。

日退教ホームページ

「日退教」と漢字で入力するだけで簡単に検索できます。各単会の機関紙・ニュースも掲載していますので、発行したら日退教に1部郵送して下さい。

第44回総会、質疑に対する事務局答弁

福岡県退教

Q 単会の数と加入人員は？26単会しかカンパが納められていない。カンパのとりくみが不十分ではないか。

A 単会の数は61、登録人員は6万弱。たしかにカンパの集約額は充分とはいえない。各単会から会員の段階まで周知することが難しいこともあろうかと思う。例年この

A 日教組は現職組合に見解を送付している。取材には答えていたようだが、改めてメディア向けに抗議声明のような発表はしなかった。ヤジが不適切で、答弁に間違いがあったこともその後明らかになり、公にもされている。

討論に対する事務局見解・コメント

定期総会でカンパにとりくむことを確認し、その後各単会宛に要請してきたが、今年は戦争関連法案反対のたたかい等もあり、各単会の総会できりくみを確認していただけるよう早めに要請させていただいた。ぜひ積極的にとりくんでいただきたい。

北海道退教

Q 安倍首相の日教組に対するヤジについて日教組・日退教はどう対応したのか。

1 (沖縄退教・北退教) 沖縄退教・高退教のみなさんが辺野古新基地建設反対運動の先頭に立って活動していることに心から敬意を表する。日退教は昨年までの5年にわたる交流を引き継ぎ、今年も月1回の辺野古キャンプシュワブゲート前座り込み行動を企画し、5月から始めています。10月までを予定しているのでぜひ積極的に参加して欲しい。

2 (群馬退教) 「戦争をさせない署名・2015版」はすでに第1次提出をしたが、平和フォーラムでは引き続きとりくむとしている。各単会でも遅れても集約した署名は事務局におくっていただきたい。

3 (群馬退教) 日退教も男女共生部会で「エンディングノート」(仮)を検討している。群馬の取り組みを参考にさせていただきたい。

4 (福岡退教) 議員の女性枠を具体的数字で決めていくのはそれぞれの組織の状況から難しいかと思うが、複数の議員を持つ単会は、その状況を踏まえて検討していただくという段階にとどまらざるを得ない。

5 (福岡退教) 介護の問題については日退教でも男女共生部会、福祉部会で検討をすすめる。各単会に情報発信していきたい。

6 (石川・愛知退教) 4月の統一地方選、各単会の奮闘

辺野古新基地はいらない!



7月6日 デモする参加者



7月6日 座り込み365日目



7月6日夜 稲嶺進名護市長もサプライズ参加

2015・16年度の顧問・各部長 ※部会長

組織	平岡 良久	※東京高
	太田 洋吉	千葉高
	上田 典男	埼玉
	藤崎 喜仁	東京
広報	秋葉 庸	千葉
	柴田 迪春	※東京
	町田 武俊	埼玉
	川口 政利	東京高
福祉	武田麻佐子	神奈川高
	越川 薫一	※千葉高
	後藤 康彦	東京高
	石川 博	埼玉
男女共生	谷口 滋	東京
	山際 正道	神奈川高
	寺井 律子	※東京高
	前田嘉代子	千葉高
退連幹事	井本みち子	神奈川高
	川村まり子	埼玉
顧問	柴田 悦	東京
	本村富美子	東京高
	兼古 哲郎	北海道
	北原 久禪	石川県

沖縄と連帯する日退教第6次交流 キャンプシュワブゲート前座り込み行動

日退教は昨年まで5回にわたる沖縄交流にとりくんできました。2015年度は安倍政権による辺野古新基地建設が強行にすすめられる状況に対し、月1回の座り込み行動を企画しました。沖縄県・高退教の皆さんの協力で、今日までに5月、6月、7月(各月の参加者数は5月13名、6月1名、7月29名、7月は都高教退の行動に合流)と3回

実施してきました。(この日退教の行動とは別に、単会独自に時期を前後して辺野古座り込みを実施しています。)7月行動には夜の交流会に稲嶺名護市長がサプライズ参加、お話を伺い、懇親させていただきました。

引き続き、8、9、10月に行動します。

退連第19回定期総会 7月15日

退連、安倍政権を鋭く批判！



7月15日
挨拶する阿部会長

ために、前代未聞の95日間も国会の会期を延長し、専門家から憲法違反と指摘された自衛隊の海外での武力行使の道を開く、集団的自衛権行使のための法案成立を強行しようとしているのである。以下、省略

安倍NO！ 戦争法案NO！

—地公退・第46回
定期総会開かれる—



7月31日
来賓で挨拶するなたにや参議院議員

西澤会長の挨拶

「日本の針路を決定する戦争法案が国会にかけられています。与党は数の力で衆院を突破し、参院に回しました。法案は違憲であり、政府が根拠としているのは砂川最高裁判決と72年見解、それに加えて情勢の変化を挙げています。したがって磯崎補佐官の「法的安定性は関係ない」発言も当然と言えます。

安倍発言も支離滅裂で、意味が分かりません。ただ、この法案が無制限に戦争できる、米軍の戦争へはどこでも参加可能という内容であることは明確です。一方、国会を取り巻く状況にも変化が見られます。安倍発言、憲法学者の違憲発言、強行採決以降の集会・デモへの参加が日毎増加し、安倍政権打倒の動きもあります。潮目も変わってきています。連日の抗議集会、デモで国会周辺に行っています。28日には、戦争させないのプラカードを持った中学生や動画を撮っている小学生も見られました。

それで、小2の時、疎開先で見たメーデーでスクラム行進する父の姿を思い出しました。今、歩道にいる子どもたちは、国会に向けて声を上げている私たちをどのように見ているだろうか、と思ったりもしました。加藤周一さんはかつて、「老人と若者の結託」が力になると説き、日本は戦後戦争をやり易くする法律は作ったが、やり難くする法律は作っていない、と言っておられました。そのどん詰まりが戦争法案です。この流れに一矢を報いましょう。そのため街に出ましょう。

高齢者人口は3,500万人を超えています。経験豊富な高齢者と若者が手を結び、力を出すことは重要な役割です。

日本の戦争と平和の関係で沖繩の状況は欠かせません。闘いの環は沖繩にもあります。まず、現地の闘いに参加すること、

沖繩以外で厚木基地のような闘いを組織することです。次は沖繩から来てもらって学習会を持つこと、そして辺野古カンパに応じることです。

戦争には膨大な費用が掛かります。政府は社会保障費の1.5兆円減額を打ち出しています。平和なくして社会保障なしです。このような状況下でも勝機は来ます。内閣・自民党支持率が30%を割る、あるいは安倍70年談話、川内原発、辺野古、アベノミクス、TPP等々、問題は山積しています。

よりよい未来実現のために団結し、奮闘しましょう。」

「明成皇后暗殺事件110年ぶりの追跡」を撮影した韓国の鄭秀雄監督が、6月29日来局しました。第2回東アジア海外研修旅行で、明成皇后120年忌辰祭（法要）に参加しますが、他国の皇后を暗殺したにもかかわらず、無責任な態度をとり続ける日本政府に対し、今後の東アジアの平和・安定のためにもきちんと謝罪すべきところは謝罪すべきです。



6月29日
監督と西澤会長

次の3人が討論に立ちました。

・全水道・中山代議員

・被用者年金の一元化に伴う追加費用の問題について

・日退連・谷口代議員

・積立年金の運用に関する奨学金の扱いについて

・日退連・越川代議員

1 積立年金の運用問題

2 親の介護で失職し、年金支給があった親が死んで無収入になっ

たケースのこと

3 在宅介護の問題

4 低賃金者の年金加入の問題

(し)

活躍する単会の旗、そのポールを入れる旗ケースはいかがですか。

6月9日の日退教総会の開会前に実物を見せながら紹介をしました。

防水加工のケースです。わずか500円です。注文は縦、横の寸法を書いて、必ずファックスで申し込んでください。送りかたは、日退教通信などと一緒に贈ります。代金は、9月10月の集会旅費から引きます。申し込み締め切り9月15日必着。



活躍する旗ケース
購入しませるか？

第2回東アジア海外研修旅行

—朝鮮に対する日本の侵略を学ぶ旅—
40名を超える申し込みがありました。しっかりと学んで来ます。

第12回

「浅川巧の生き方を学ぶ清里銀河塾」に参加して (6月6～8日)

本村富美子 (都高退)

浅川巧は、日本が朝鮮を植民地支配していた1915年(大正4)23歳で朝鮮にわたり、40歳で亡くなるまで朝鮮の自然を愛し、民や文化への敬意と尊敬の気持ちで貫いた人です。当時、朝鮮に渡った多くの日本人は、差別意識を持ち、朝鮮人を見下し横暴な振る舞いが当たり前でした。しかし、浅川巧は林業技術者とともに、山々の緑化に尽力しました。また、日常使いの工芸品を調査し「朝鮮の膳」などの名著を残しました。そして、何よりも朝鮮人に愛と敬意を持ち、支援を惜しまなかったのです。

彼の兄伯教も朝鮮美術に魅せられ、朝鮮陶磁器の歴史を研究、その美を紹介し、柳宗悦、浅川巧とともに朝鮮民族美術館を設立しました。浅川巧は京城郊外の忘憂里共同墓地に眠っています。戦後、韓国の人々によって、こ



浅川兄弟資料館

こに碑が建てられ「韓国の山々と民芸を愛し、韓国人の心の中に生きた日本人……ここ韓国の土となる」と刻まれています。

この浅川巧の生き方を学ぶ3日間、心に残ったことはたくさんあります。その中でも「国境を越えた友情」についての専門学校の学生、留学生、中学生、社会人とのグループ討論は意義深い者でした。

その中で、この塾を主催している河先生が「75年間、日本で生きてきて辛いこともあったが、日本と日本人を愛して来た。ところがヘイトスピーチが始まり、本当に悲しかった。お墓も日本でも思っていたが、子どもや孫たちが生きて行けるのかと考えてしまった……でも、私は日本や日本人を愛し続ける」と言われました。私はその言葉を思い出すと、今でも涙が出てしまいます。日本で生まれ、日本人や日韓友好に一生をささげて来た河先生をこんな気持ちにさせてしまった日本や日本人を恥ずかしいと感じ、申し訳ない気持ちでいっぱいになってしまいました。

教育と文化 第80号
特集「戦後70年のNO WAR」
購読はアドバンテージサーバー
☎ 03-5210-9171
Fax 03-5210-9173

ヘイトスピーチは本当に邪悪で醜いものです。これは、人の心を打ちのめし、深い傷や恐怖を植え付けます。また、暴言を吐く側の心も壊れます。この日本社会の病は、韓国や中国と友情を育むより、敵視や蔑視を生み、戦争すらおこしかねない恐ろしいものだと感じました。

私は、ヘイトスピーチや差別や戦争を許さない日本人でありたいし、そのための努力を惜しまないことが、この塾のテーマ「ひびきあう心」につながるものだと思います。

ここで学んだことを秋の第2回東アジア海外研修旅行(朝鮮に対する日本の侵略を学ぶ旅 10月6～9日)で、更に深めたいと考えています。浅川伯教・巧兄弟資料館 〒408-1002 山梨県北杜市高根町村山北割3315

☎0551-42-1447
関東地区は、日帰りできますので、研修旅行に最適です。

映画「道(白磁の人)」 浅川巧が主人公の劇場映画です。

◆編集後記◆

政府が推薦し、世界遺産として「登録」された「明治日本の産業革命遺産」の一つ「軍艦島」について韓国政府から異論が出たことは新聞でも報道されました。近代において、日本の炭鉱や土木工事等で「植民地」朝鮮の人々に過酷な労働が強制されていたことはつとに知られていることです。この歴史的背景を考える中で、今回同時に「松下村塾」が登録されたことも看過できません。

吉田松陰は、ドラマでは近代日本における思想家・指導者のようですが、実際は以下の通りです。

松陰は、「今急に武備を修め、艦ほほ具わり、砲ほほ足れば、すなわち宜しく蝦夷を開墾して諸侯を封建し、間に乗じてカムサツカ、オホソツクを奪い、琉球に諭して、(中略)朝鮮を責め、北は満州の地を割き、南は台湾、ルソン諸島を納め」と述べ、「吉田松陰全集」第1巻所収、さらに

「国力を養い、取易き朝鮮・満州・支那を切り随え(侵略し)、交易にて魯国(ロシア)に失う所は又鮮満にて(朝鮮・満州から搾取して)償うべし」(同第5巻所収)と主張しています。

つまり、薩長中心とする明治政府以降の政権がとった、日清・日露戦争、台湾・サハリン領有、日韓併合、満州事変・日中戦争、太平洋戦争など、負の歴史の背景には、松陰の「壮大な」「侵略思想」があったのです。

因みに「松下村塾」は松陰の叔父、兵学者・玉木文之進の私塾です。偶々行き場のない若者のたまり場で、松陰は専ら「攘夷論」を唱えていた、というのが実相のようです。獄中生活が長かった松陰は、著作の大部分をそこで書いたそうです。そして、1859年、伝馬町の牢内で長州藩承諾の下、29歳で処刑されました。